

地域ケアプラザ・栄区社会福祉協議会に生

横浜市では、団塊の世代が75歳以上となる2025（平成37年）年に向けて、高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられるような地域づくりをするために、今年度より地域ケアプラザと栄区社会福祉協議会に「生活支援コーディネーター」を配置しました。

今後は、各地域の生活支援コーディネーターが、高齢者に関する地域活動を支援するために地域の活動へ伺います。

	所属	氏名
生活支援コーディネーター	豊田地域ケアプラザ	矢濱 美弥
	笠間地域ケアプラザ	上野 聡子
	小菅ヶ谷地域ケアプラザ	相澤 知子
	中野地域ケアプラザ	佐藤 裕佳
	桂台地域ケアプラザ	吉田 恵子
	野七里地域ケアプラザ	角田 あさみ
	栄区社会福祉協議会	秋葉 木綿子
栄区役所 地域包括ケア推進担当係長	高齢・障害支援課	村林 悟史



生活支援コーディネーターの役割

地域のニーズに応じて、新しいネットワークを作ります。
また、担い手不足の団体に対し、マッチング等の支援をします。

地域の皆さんと一緒に高齢者にやさしい「つながり」のある地域づくりを目指します。

生活支援コーディネーターが配置されました

Q1 なぜ生活支援コーディネーターが配置されたの？

少子高齢化の進展

<全国>

社会は「胴上げ型」から「騎馬戦型」へ
そして「肩車型」社会 がやってくる



<厚生労働省資料を基に作成>

A1 地域の高齢者の割合が増えていく一方で、高齢者の方に元気で暮らしていただくことが重要です。また、元気な高齢者が地域の中で、支援が必要な高齢者を支えていただくことも必要です。生活支援コーディネーターは、身近な地域で、そのお手伝いをするために配置されました。地域の活動へ伺います。

Q2 生活支援コーディネーターはどんなことをするの？



A2 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるように、生活のちょっとした困りごとを解決する（例えば、買い物、ゴミ出し、電球の交換）団体や担い手を支援します。また、高齢者がいつまでも元気で充実した暮らしが出来るように体操や趣味の活動等の交流の場を増やしたり、そのお手伝いをさせていただきます。

